

仙台市の再犯防止推進計画策定のための協議会

経過報告

令和2年7月2日

仙台市健康福祉局社会課 作成

協議会の概要

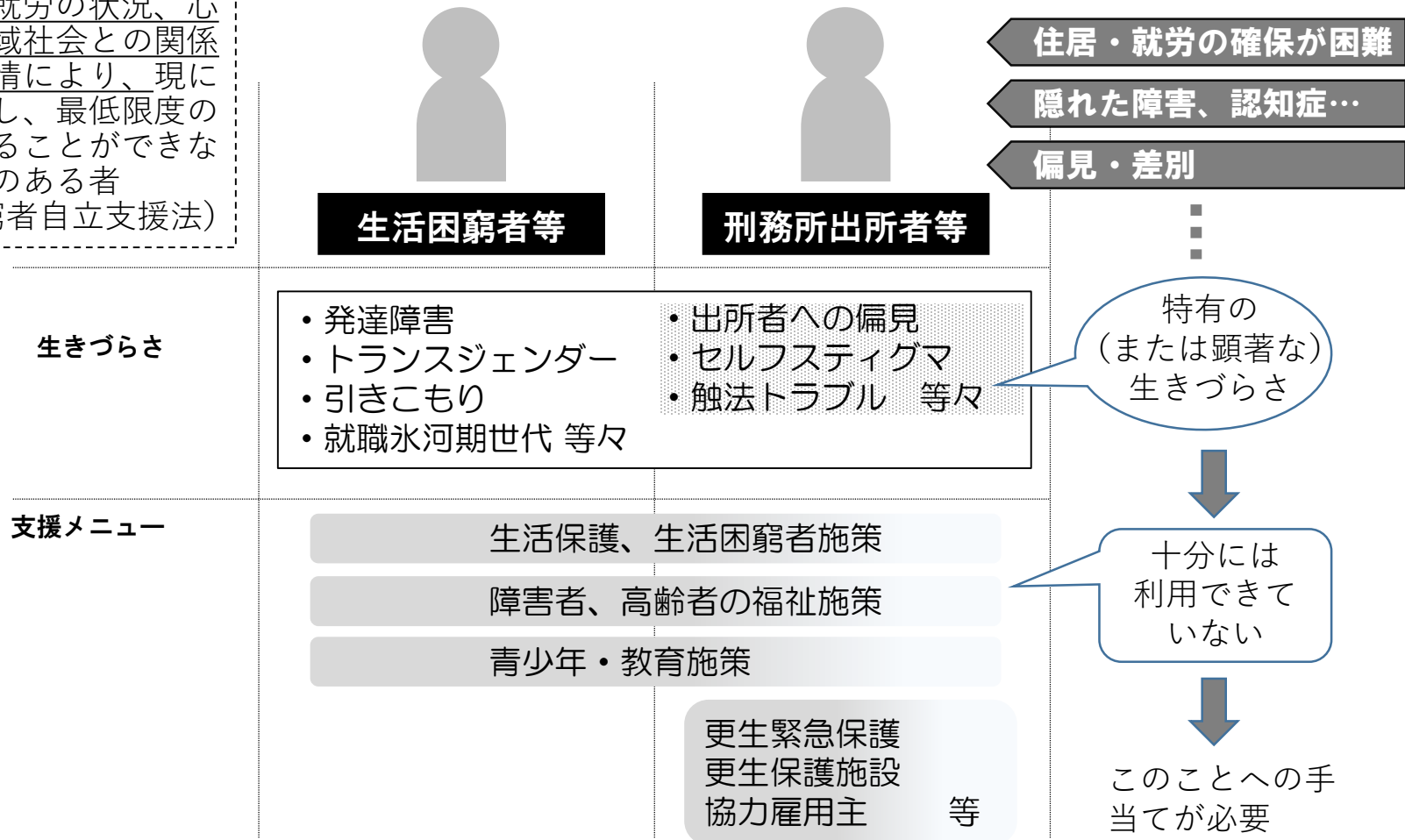
開催日		内 容
第 1 回	令和元年 9月20日	各機関等の取組と課題
第 2 回	令和 2年 2月 4 日	支援の各場面での必要な取り組み
第 3 回	令和 2年7月15日（予定）	

参加機関等

仙台保護観察所（主催）／仙台地方検察庁／宮城刑務所／東北少年院
青葉女子学院／仙台少年鑑別所／更生保護施設宮城東華会
宮城県更生保護就労支援事業所／宮城県地域生活定着支援センター
わんすてっぷ／仙台市保護司連絡協議会
仙台市（子供相談支援センター、障害企画課、高齢企画課、
地域ケア推進課、保護自立支援課、社会課）

刑務所出所者等の捉えの確認（第1回協議会）

生活困窮者 就労の状況、心身の状況、地域社会との関係性その他の事情により、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者
(生活困窮者自立支援法)



支援の課題①（第1回協議会、他会議、ヒアリングほか）

	課題（意見）
社会復帰意欲の喚起	社会復帰支援事業を受けない者への動機づけ
	釈放前の指導（時期）
	刑務所在所中の今後の生活についてのアセスメント
	特別調整、更生緊急保護を受けることの働きかけ
	適切な進学指導（安易な就労希望への対応）
	施設入所等のための調整期間が短い（6か月）
	社会復帰支援事業の効果についての追跡調査をしたい
	制約のある生活の拒否（清流ホーム入所等）

支援の課題②（第1回協議会、他会議、ヒアリングほか）

	課題（意見）
支援者（機関）間の相互理解	関係機関、支援者間の連携
	特別調整等に乗らない者への対応
	宿泊所確保についての急な相談への対応
	出口支援のような調整機関がない
	専門的知見の活用についての地域の需要の把握
	障害者サービス利用にあたっては、心理面・生活面の課題整理が必要
	サービス利用前に犯歴を含めた本人情報の共有が必須

支援の課題③（第1回協議会、他会議、ヒアリングほか）

	課題（意見）
支援に対する理解促進・啓発	特別調整の対象外、更生緊急保護に同意しない者への対応
	保証人、緊急連絡先がない（賃貸住居、施設、就労）
	希望業種と就労先の業種のミスマッチ（業種の幅が狭い）
	犯罪の内容（性犯罪、放火等）、在所中の素行により、更生保護施設等での受け入れが困難
	在籍校との関係保持
	刑務所等出所者が施設に入所することへの地域住民の理解

支援の課題④（第1回協議会、他会議、ヒアリングほか）

地域生活支援（息の長い支援）

課題（意見）

釈放後の生活の見守り

少年院退院後のサポート、相談先、信頼できる大人

地域生活の支援者の確保

「やること」、地域での役割が必要

問題行動が収まった後のつなぎ先

学校卒業後、若者への理解・啓発の機会がない

保護司のなり手の確保

粗暴な者に対応する経験の浅い支援者の負担

サービス利用前に犯歴を含めた本人情報の共有が必須

障害者サービス利用前の本人支援のコーディネート

事前調整、支援体制が不十分なままでの地域生活開始

集中的な支援、継続的な支援のためのマンパワー不足

支援の課題⑤（第1回協議会、他会議、ヒアリングほか）

	課題（意見）
特性への対応	知的障害、発達障害等への対応
	職員のケア(困難ケースへの少人数での対応)
	薬物事犯のつなぎ先がない
	薬物事犯等犯罪に応じた関り

課題への対応①（第2回協議会）

課題	必要な対応（意見）
<div data-bbox="146 389 610 554"> 社会復帰意欲の喚起 （働き掛け） </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○円滑な社会復帰のために支援を受ける必要があることの理解を促す ○セルフスティグマの軽減、解消 ○本人の興味、関心、得意なことについての共有
<div data-bbox="146 704 610 868"> 支援者（機関）間の 相互理解 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○関係機関の情報集約（リスト） ○つながり合う、つながり続ける関係づくり ○本人の特性、背景（犯歴含む）の共有 ○支援についての市の相談窓口の一本化
<div data-bbox="146 1018 610 1182"> 理解促進・啓発 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○支援者の掘り起こし（声がけ） ○支援者への支援 ○受け入れ先に負担を集中させない支援体制づくり

課題への対応②（第2回協議会）

課題	必要な対応（意見）
地域生活支援 （息の長い支援）	<ul style="list-style-type: none"> ○関係者間の日ごろの情報共有 ○問題が生じたときの協力関係 ○負担が集中しない支援体制 ○世帯としての様々なアプローチ
特性への対応	<ul style="list-style-type: none"> ○個別の対応についての相談ができること ○日常的な生活の見守り ○社会参加の機会拡充 ○特性についての支援者の学びの機会
必要な視点	
被害者への配慮	<p>◆更生支援の取り組みの前提</p>

審議会での意見

○社会福祉審議会地域福祉専門分科会（令和2年2月5日）

再犯防止に関わる委員の意見の概要

既存の団体などが普段地域でやっていることで、視点を変えると再犯防止につながるものもたくさんある。そういったことを掘り起こすことはとても大事だ

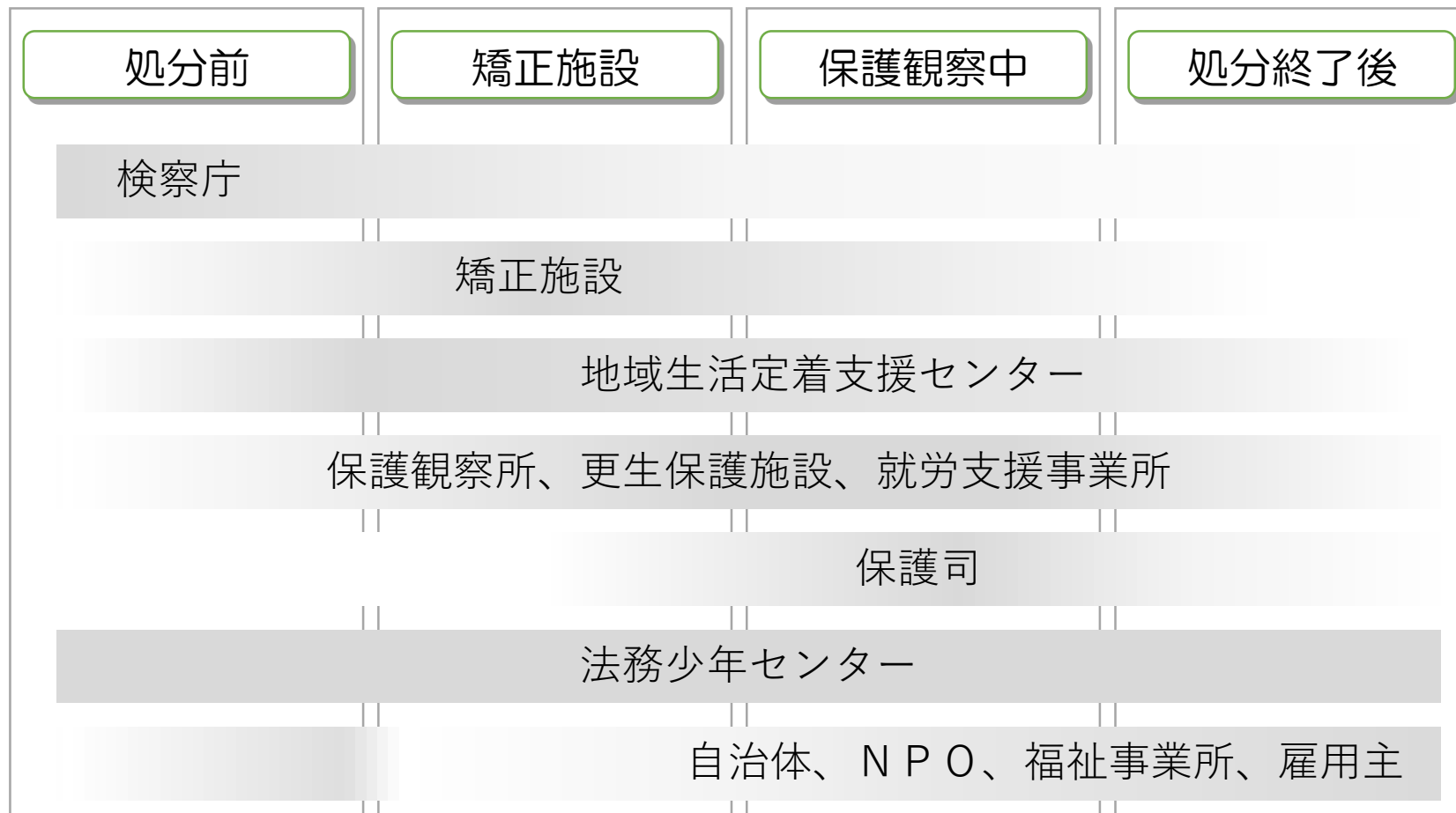
まず被害に遭った人たちに対する支援をし、安全安心のまちをつくるために再犯のないまちをつくるという書き込みが必要だ

例えば尊属殺人では被害者は家族だ。また、加害者家族支援という新しい考えもある。家族が犯罪者となり、地域にいられない、学校にいけない、そういう家族への支援が大事だ

保護司や民生委員など支援者のなり手不足に踏み込んでいく必要がある

少年院を出た子に関わっているが非常に難しい。その子の問題だけでなく、その周りの家族支援も大切だ。

現状の支援の関りイメージ



※ 色の濃い部分が関わりの大きい段階

平成30年 仙台市内の犯罪統計

犯罪種別 初犯者・再犯者別 性別 検挙人員(少年を除く) (人)

	総数		うち) 初犯者		うち) 再犯者		再犯者率
		うち)女性		うち)女性		うち)女性	
刑法犯数総数	1,556	353	800	208	756	145	48.6%
うち) 凶悪犯	20	3	7	2	13	1	65.0%
うち) 粗暴犯	374	33	239	28	135	5	36.1%
うち) 窃盗犯	873	287	391	154	482	133	55.2%
うち) 知能犯	103	15	48	11	55	4	53.4%
うち) 風俗犯	28	0	18	0	10	0	35.7%
覚せい剤取締役法違反	47	9	6	4	41	5	87.2%
麻薬取締法違反	4	1	4	1	0	0	0.0%
大麻取締法違反	23	1	7	0	16	1	69.6%

注1 「再犯者」とは、刑法犯、特別法犯(道路交通法違反を除く)の別を問わず前科又は前歴を有する者をいう

2 犯行時年齢が20歳以上の者を計上している

出典：警察庁犯罪統計書、データ提供：法務省矯正局

(参考1)

宮城県内の再犯率(H30)

(人)	検挙人員		再犯者率
		うち再犯者	
	3,205	1,517	47.30%

平成29年47.3% 平成28年49.2%

(参考2)

全国の再犯率(H30)

(人)	検挙人員		再犯者率
		うち再犯者	
	206,094	100,601	48.80%

平成29年48.7% 平成28年48.7%

新受刑者のうち犯行時に県内に居住していた者の人数及び再犯者数

(人)

年 齢	平成26年			平成27年			平成28年			平成29年			平成30年			
	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	
20-24歳	10	1	10.0%	16	0	0.0%	14	0	0.0%	10	0	0.0%	8	0	0.0%	
25-29歳	24	9	37.5%	30	11	36.7%	21	7	33.3%	14	4	28.6%	17	8	47.1%	
30-34歳	34	15	44.1%	32	12	37.5%	30	14	46.7%	31	13	41.9%	20	9	45.0%	
35-39歳	33	22	66.7%	25	15	60.0%	33	18	54.5%	22	12	54.5%	26	13	50.0%	
40-44歳	35	21	60.0%	40	27	67.5%	37	21	56.8%	40	28	70.0%	27	15	55.6%	
45-49歳	27	14	51.9%	37	22	59.5%	28	17	60.7%	39	27	69.2%	34	24	70.6%	
50-54歳	26	17	65.4%	27	18	66.7%	19	14	73.7%	22	13	59.1%	26	19	73.1%	
55-59歳	17	8	47.1%	14	7	50.0%	19	14	73.7%	15	9	60.0%	16	14	87.5%	
60-64歳	17	12	70.6%	17	9	52.9%	12	7	58.3%	12	11	91.7%	14	8	57.1%	
65-69歳	11	7	63.6%	15	10	66.7%	12	8	66.7%	15	5	33.3%	12	5	41.7%	
70-74歳	4	1	25.0%	10	6	60.0%	9	6	66.7%	6	3	50.0%	5	4	80.0%	
75-79歳	2	2	100.0%	3	2	66.7%	7	5	71.4%	2	2	100.0%	4	2	50.0%	
80-84歳	1	1	100.0%	3	3	100.0%	2	1	50.0%				3	3	100.0%	
	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	受刑者	内再犯	再犯率	
65歳未満	223	119	53.4%	238	121	50.8%	213	112	52.6%	205	117	57.1%	188	110	58.5%	
65歳以上	18	11	61.1%	31	21	67.7%	30	20	66.7%	23	10	43.5%	24	14	58.3%	
総数	241	130	53.9%	269	142	52.8%	243	132	54.3%	228	127	55.7%	212	124	58.5%	
全国	65歳未満	19,583	11,255	57.5%	19,226	11,112	57.8%	17,969	10,351	57.6%	17,058	9,786	57.4%	16,050	9,198	57.3%
	65歳以上	2,283	1,625	71.2%	2,313	1,594	68.9%	2,498	1,732	69.3%	2,278	1,611	70.7%	2,222	1,618	72.8%
	総数	21,866	12,880	58.9%	21,539	12,706	59.0%	20,467	12,083	59.0%	19,336	11,397	58.9%	18,272	10,816	59.2%

出典：法務省矯正局調査、データ提供：仙台矯正管区

仙台市内で保護観察を受けている少年の人数

(人)

	総数	(うち新規)	内訳			
			保護観察少年	(うち新規)	仮退院少年	(うち新規)
平成27年	225	(117)	182	(95)	43	(22)
平成28年	202	(83)	171	(72)	31	(11)
平成29年	191	(93)	163	(79)	28	(14)
平成30年	168	(54)	143	(47)	25	(7)
平成31年 令和元年	120	(44)	101	(38)	19	(6)

※ 総数は1月1日時点で保護観察中の者と、その年1年間に新たに保護観察が開始された者(新規)の合計

※ 保護観察少年: 家庭裁判所で保護観察処分の審判を受け、保護観察を受けている者

※ 仮退院少年: 少年院に収容され、その後、仮退院し、保護観察を受けている者

データ提供: 仙台保護観察所